

トラック2（オナバレ、靴下コキ）

SE：廊下を歩く足音

もう1週間だけど…仲良くなれないな…
慣れ慣れしいかな…
あたしの方が年下だし…

いや、兄妹になつたんだし、歳は関係ないよね
うん、悩んでも仕方ない
今日はお風呂入つてきつぱり…

SE：引き戸を開ける音

（慌てながら）
つて兄貴！？

違つ、鍵かかつてなかつたからつ
ごめん、すぐ出る…ん？

（→ここまで）

（恐る恐る口にする）

…それ、あたしの靴下じやん
鼻に押し当てて、チンコ大きくして
兄貴、あたしの靴下でシコつてたの…？
（→ここまで）

（取り繕うように）

あっ、いや、驚いたけど、うん、怒つてないよ
男の人つて、そういう」としたくなるんだよね
(→ここまで)

でも靴下かあ…

それ部活で使つたから、絞れるくらい汗染み込んで、
相当臭うと思うけど

そういうのが好きなのか…

（勇気を振り絞るように）

ねえ、兄貴
良ければ…あたしに、手伝わせてくれない?
(→ここまで)

何をつて、オナニーに決まつてるじやん
自分でやるより、女の子にしてもらうほうが、
絶対気持ちいいって

(押ししが強い感じで)

ね、お願い！

もう家族なんだし、兄貴の役に立ちたいんだ
(→「」まで)

試しに1回?

うん、それでもいいよ

兄貴、あたしに体預けて
後ろから抱きついてあげる

(無聲音囁き)

おっぱい当たってるの、分かる?
もちもちむにむにで、柔らかいでしょ
(→「」まで)

あ、チンコピクつてした

やっぱ口よりも、下半身に訊いた方が早いね

(からかうように)
もしかして兄貴…、おっぱい触つたことない?
(→「」まで)

あつ、馬鹿にしてるわけじゃないよ

(嬉しそうに)

兄貴の初めてを1つもらえたなら、嬉しいなあつて
あたしのおっぱい、堪能してね
(→「」まで)

じゃ、期待してるチンコに、靴下被せてあげる
靴下オナホだね
染み込んだ汗のおかげで、ローションぐらすだよ
匂い嗅いでオナニーしちゃうくらい、
靴下が好きな兄貴には、ぴったり
蒸れて湿ってるの、よく分かるでしょ
履き口が根本を締め付けるのも、気持ちいい?
それじゃ、扱くよ
優しく握って…まずはゆっくり

SE:手コキ音(ゆっくり)ループ

(遅めのペースで、無聲音囁き)

シコシコ…シコシコ…

シコシコ…シコシコ…

(→ここまで)

焦れったそうだね、兄貴
でもだーめ

いつもはさつと抜いてるのかかもしれないけど
今日は快感を溜め込んで、初めての世界を見せてあげる
チンコに意識向けて
纖維で根本から磨きあげるように、シユリシユリしてあげる
そしたら、奥から快感が染み出してくるでしょ
まだなんてことない、緩い快感
それを育てていいくよ

(遅めのペースで、無聲音囁き)

シコシコ…シコシコ…

シコシコ…シコシコ…

(→ここまで)

(嬉しそうに)

扱くたびに兄貴のチンコ、どんどん大きくなってる
(→ここまで)

いいよ、恥ずかしがらずに、もひと気持ちよくなつて
靴下越しでも、硬くなつてるのがよく分かるよ
汗ぐつしよりの靴下に包まれて、喜んでるんだ

(楽しそうに)

手を動かすたび、ぐちゅぐちゅ、ぐちゅぐちゅ、
いやらしい音がしてる
汗が染みだしてきちゃつた
それとも、兄貴の我慢汁かな
いやらしい水音、もつと立てちゃお
(→ここまで)

纖維を裏筋に押し付けて

(無聲音囁き)

シコシコ…スリスリ…

シコシコ…スリスリ…

(→ここまで)

チンコの裏側、靴下で撫でられるの、気持ちいい?
手より刺激が強くて、いつもより感じるでしょ

(いたずらっぽく)

ねえ兄貴、靴下つて一枚で一足なんだよ
片方しか使わないの、もったいないよね
(→こままで)

これ、反対の靴下

さつきみたいに嗅いでみて
あはは、丸めた靴下に、鼻が埋もれちゃった
口呼吸しちゃダメだよ、兄貴
湿ってて、息がしづらいだろ(けどさ)
汗(こと)吸い込むつもりで、大きく深呼吸
そしたら、強烈に酸っぱい匂いが、
頭のてっぺんまで、突き抜けるでしょ
発酵したチーズにも似た、嫌な匂い
こんな臭いのが好きなんて、驚き
ちょっと恥ずかしいけど…兄貴ならいいよ
チンコに被せてる靴下も、同じ匂いが染み付いてるから
あたしの足の匂い、刷り込まれちゃうね

(からかうように)

オナニーしようと思つてチンコ取り出したら、
あたしの足の、酸っぱくていやらしい匂いが漂つてくる
そしたら今日のこと思い出して、またしてほしくなるかも
(→こままで)

(安心させるように)、優しく話す
いいよ、その時はまたしてあげる
(→こままで)

扱くの速くするよ

SE:手コキ音(中速)ループ

ますます気持ちよくなるけど、射精はまだ我慢

(無聲音囁き)

シコシコスリスリ…：

シコシコスリスリ…：
(→こままで)

根本から先端まで、全体を扱いたげる

兄貴のチンコ、快感で包んじゃうね
呼吸も荒くなつてゐよ

(無聲音囁き)

あたしの靴下コキで、興奮してゐるんだ
(→ここまで)

でもそんなに鼻息荒くしたら、
汗の匂いで、ツーンってしちゃわない?

それとも、それがいい?

んじや、あーんして、兄貴

その大きく開けた口に…はい、プレゼントト♪

汗だく靴下、食べさせてあげる
めちゃくちゃしようぱいよ~

口の中をも~も~させてさ

あたしのフェロモンたっぷりの汗、全部飲んでほしいな

(強気な感じで)

吐き出したら許さないよ

よく噛み締めて味わつて

(→ここまで)

ほら、カリ首集中攻撃したげる

ここ責められると、精液出したくなっちゃうんでしょ

絶対に感じちゃう、男の弱点をシコシコして

(ちょっと意地悪な感じで)

イッちやう寸前のもどかしい快感、

嫌とこくらい堪能させたげる

(→ここまで)

それに…左手が空いたから、兄貴の乳首も責められるよ

兄貴は乳首触つたことある? ない?

どっちでもいいけど

あたしの乳首責めでメロメロになっちゃうからね

兄貴のおっぱい、揉んであげる

(遅めのペースで)

も~み、も~み、む~にゅ、む~にゅ

(→ここまで)

(暗示をかけるように)

目つぶつて、想像してみて

背中に当たつてるおっぱいみたいに、兄貴の胸が膨らんでるの
ふわふわのおっぱいに、あたしの指が沈んで、
むにゅむにゅ形が変わる

胸の奥がぽかぽか温くなる

じんわり広がる幸せな気持ちに浸りながら、
靴下もぐもぐしてみて

汗の酸っぱい匂いが、鼻を抜けてツンつてなる
舌の上には、苦くてし�ょっぱいひどい味が広がる
臭くて不味くて嫌なはずなのに、もつと欲しくなっちゃう
(→ここまで)

胸とチンコに快感が溜め込まれてるから、

どんな刺激も気持ちよく感じちゃうよ

(強気な感じで)

嗅覚や味覚も、あたしが開発してあげるね
(→ここまで)

乳首も大きくなってる

おっぱい揉まれて、疼いてきた?

ここの、触つてほしいんだ?

(優しく語り掛ける)

いいよ、胸で感じさせてあげる
(→ここまで)

まずは指先で…つんつん、つんつん…

(暗示をかけるように)

ピリつて走る快感が、疼きをますます大きくする

乳首をつかれる度に、気持ちよさが身体に染み渡っていく
(→ここまで)

力入れちゃダメだよ、兄貴

快感を受け入れて

チンコももつと苛めちゃう

指の輪つかで締め付けて

シコシコゴシゴシ…

シコシコゴシゴシ…

汗でグチュグチュの靴下が、竿全体を擦り上げるよ
→ここ

繊維が密着して、快感から逃げられないね
気持ちよさに喘ぐと、
あたし特製の足汗ドリンクが、口の中に溢れ出して、
身体の中を犯していく

(←「むわむわ」を強調)

靴下の激臭がむわむわっと広がって、鼻から脳を侵食する
うえつてなりそうなのに、心地いい
クラクラしてくるから、気持ちいい
あたしのくさい靴下なしじや、いけない身体になっちゃうね
いや、靴下だけじゃ足りないかな
きっと乳首責めも欲しくなる

指を乳首に置いて…
すり、すり…すり、すり…
すり、すり…すり、すり…

(暗示をかけるよつこ)

乳首を撫で上げられると、胸の奥から気持ちよさが広がってくる
身体の輪郭がぼやけて、とうとうになる

(→ここまで)

楽にして、兄貴

身体支えててあげるから、ただ快感に身を委ねて
精液出す準備もしよつか
またカリ首責めちやうね

SE:手コキ音(高速)

(やや速めのペースで)

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ
シコシコシコシコ、シコシコシコシコ
(→ここまで)

ずっと愛撫されて、身体中感じやすくなってるのに
特に敏感なところを小刻みに責められちゃ、
たまらないね

でもまだ準備だけだよ、出すのはあとちょっと我慢

(いたずらっぽく)

口の中の靴下から、あたしのエキス、
搾りつくしてないでしょ?

(→ここまで)

残すのはもったいないよ
一滴残さず、じゅるじゅるぐっくんして
塩辛い靴下の味を、舌でしつかり覚えてね

乳首も追い込むよ

すりすり…すりすり…
すりすり…すりすり…

(ゆっくり話す)

指先が乳首の上を往復すると
何度も快感が湧きだしてきて
こそばゆさと気持ちよさが、ずっと続く
(→ここまで)

チンコとお口、お鼻に乳首
身体中の快感に溺れて、いつちやつて
カウントダウンするよ、兄貴

「ーお、よーん、さーん、にーい、いーち
…ゼロ！」

SE・射精音

(少し驚きながら)

わっ…兄貴のチンコ、靴下の中で暴れてる
(→ここまで)

いいよ、手は動かし続けるから、全部出して

お疲れ、すつきりできた?
ね、良かつたでしょ

またしてほしくなつたら、遠慮なく言つていいからね、兄貴♡